

名勝・玄宮楽々園案内図



1 臨池閣



2 鳳翔台



3 龍臥橋



4 春風埜

5 薩埵林 (Satsudoin)

6 鑑月峯 (Kanyu-no)

7 飛梁溪 (Hiryu-kyo)

8 涵虚亭跡 (Kanyu-tei)

9 魚躍沼 (Ishidaru)

10 鶴鳴渚 (Tsurunari)



至黒門・天守

0 30m

●●●●● 通行止

※園内にトイレはございません。桜場駐車場のトイレをご利用ください

至表門・JR彦根駅

桜場駐車場

W.C

東口券売所

屋形船船着場

玄宮楽々園の沿革

玄宮楽々園は、江戸時代には「槻御殿」と呼ばれた彦根藩の下屋敷です。槻御殿は、延宝5年(1677年)、4代藩主井伊直興により造営が始まり、同7年に完成したと伝え、昭和26年には国の名勝に指定されています。現在は、槻御殿の庭園部分を玄宮園、建物部分を楽々園と称しています。

玄宮園

玄宮園は、中国唐時代の玄宗皇帝の離宮をなぞらえて命名されたと考えられ、中国の瀟湘八景あるいは近江八景を模して作庭されたといわれる廻遊式庭園です。池に臨んで臨池閣や鳳翔台などの建物が設けられ、彦根城を借景とする江戸初期の大名庭園として観賞できます。

楽々園

楽々園は、玄宮園とともに彦根藩4代井伊直興により建立された彦根藩の下屋敷です。幕末の大老・井伊直弼もここで生まれました。楽々園は造営後、時代の流れとともに建物の増減が著しく、11代藩主井伊直中の退隠時には、現在のおよそ10倍もの規模がありました。

名勝 玄宮楽々園

開園時間 8:30~17:00(無休)

玄宮園での主なイベント

玄宮園で虫の音を聞く会(9月)

初秋の一夜、ライトアップされた玄宮園で、虫の音を聞きながら邦楽・野点などをお楽しみいただけます。玄宮園の虫の音は、彦根城の時報鐘の音とともに「日本の音風景百選」にも選ばれています。

錦秋の玄宮園ライトアップ(11月)

晩秋の玄宮園で行われるイベントで、木々の紅葉の時期にあわせて夜間ライトアップし、特別に公開します。照明に浮かび上がる紅葉が、昼とは別の表情を作り出します。

※夜間特別公開では、通常時間の入場券はお使いいただけません。

玄宮園のみどころ

鳳翔台(茶室)

玄宮園内の築山にある、ひなびた趣のある建物で、藩主が客をもてなすための客殿でした。玄宮園の美しさを鑑賞するには最適の場所で、ここでの薄茶の味わいは格別の趣があります。(9:00~16:00 一服500円)

玄宮園十勝

江戸時代に描かれた「玄宮園図」には「臨池閣」「鳳翔台」「魚躍沼」「龍臥橋」「鶴鳴渚」「春風埒」「鑑月峯」「薩埵林」「飛梁溪」「涵虚亭」の十景が付箋によって示されており、当時「玄宮園十勝」と呼ばれていました。

彦根城管理事務所

TEL 0749-22-2742

FAX 0749-22-2905

彦根市教育委員会文化財課

TEL 0749-26-5833

FAX 0749-26-5899